

【取組内容③】 端末の日常的な持ち帰りとクラウドの活用による、学校との連絡手段DX

端末を日常的に持ち帰り、標準のクラウドサービスなどを活用することで、保護者の負担軽減と学校の利便性向上に向けた工夫です。

2月9日(金)

2月13日

- 1 さんすう
- 2 おんがく
- 3 せいかつ
- 4 こくご
- 5 こくご

し:らくらく②
あのねちょう
どくまら1ます

☆ずこうきょうかしよ
6, 17, 18, 22
もってくる

日付	学年	出席	氏名	休否	休否理由	遅刻早退	学業	備考(出席)	欠席理由	備考(欠席)
15日	5-3	2	36.1	わおい	欠席(療養)					
15日	5-3	9	36.5	わおい	欠席(オンライン参加)					インフルエンザの治りかけの機嫌の悪み、(オンライン参加の機嫌が悪く、今日もオンライン授業で参加したくないです。早くお願ひ致します。)
15日	5-3	23	35.9	よい	出席(療養見学)		学業 登室		我がまだ戻りませんので療養は見学でお願ひいたします。	
15日	5-3	29	36.0	わおい	欠席(療養)					
15日	5-3	36	36.7	よい	出席(療養見学)				我がまだでてるので、療養は見学します。	

← 朝の欠席・遅刻等の連絡をフォームを使って実施。その結果は各クラス単位・学校全体で一覧できるので、学級・学校全体の欠席状況の把握がスムーズ。

↑ クラスルームへの連絡帳(スライド)投稿で、休みの人も等しく確認できる。

様々な事情により登校していなくてもオンラインで教室とつないでおくことで、児童は教室の雰囲気を感じられ、教師は必要な連絡を伝えることができる。学級閉鎖時は児童の健康状態を把握し、授業を進めることもできた。

▶ クラウド化することで、学習活動が家庭でも連続するよう場面も見えてきた。



↑ 通常の授業もオンラインで配信。通常の欠席や別室登校の児童にも活用できた。学級閉鎖時も毎日朝の会や課題の配信などを行い、児童の様子を把握することができた。